

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

No.	26	1	事務事業名	ごみ収集事業	細事務事業名	不法投棄処理事業	公的関与	2	シート作成日	平成31年6月5日							
課名	環境課		グループ	清掃対策	担当課長名	柴田寿文	シート作成者名	田口邦郎									
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等							
総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ			実施計画		事業の開始・終了										
	施策項目	廃棄物処理等環境衛生の充実			<input type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
	主要施策	ごみの不法投棄対策の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	弥富市廃棄物の処理及び清掃に関する条例									
個別計画																	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
	公共の場所(幹線道路・公園等)				道路・公園などを定期的にパトロールし、不法投棄物の早期発見・早期回収することにより、快適な生活環境の保全を図ります。また、回収した廃棄物は、適正処理します。												
事業の内容	公共の場所(主要幹線道路、河川敷、公園等)に捨てられた散乱ごみや軽易な不法投棄物を、シルバー人材センターにおいて、定期的にパトロールし早期発見・早期回収します。また、市民からの通報に対しては、職員が速やかに回収します。																
成果指標	①	指標名	不法投棄ごみ回収量				②	指標名									
		指標設定の考え方	不法投棄ごみ回収量を、平成25年度比で各年度5%づつ削減する。					単位	Kg								
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度		平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度							
		実績	13,920	実績	10,570	目標		※	目標	11,700	実績		実績		目標	※	目標
		目標	12,480	目標	※	目標		※	目標		目標	※	目標		目標	※	目標
予算費目	会計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費				
直接事業費			平成 29 年度決算額			平成 30 年度決算額			平成 ※ 年度予算額								
	国・県支出金	千円			千円			千円									
	地方債	千円			千円			千円									
	その他特定財源	千円			千円			千円									
	一般財源	5,096 千円			4,905 千円			千円									
計(A)	5,096 千円			4,905 千円			0 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費		0.103 人			0.103 人			人								
			711 千円			711 千円			0 千円								
	臨時職員工数・経費		人 0 千円			人 0 千円			人 0 千円								
全体事業費(A+B)		5,807 千円			5,616 千円			0 千円									

PLAN

DO

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	環境保全の観点からも不法投棄の対応は、市が行うべきであります。		<input type="radio"/> はい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	不法投棄は、パトロール等による早期発見、早期対応を行うことで、その防止につながり、これにより生活環境の保全が図られます。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	毎年不法投棄が増えているが、根気強く事業を継続する必要があります。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	効率性を追求すべきものではなく、コスト高であっても継続する必要があります。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 4 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	市民に対して不法投棄の現状や違法性の周知をし、不法投棄廃棄物はその行為者により回収処理させるのが本来であることから、警察等関係機関と連携を取り可能な限り、行為者の特定に努める必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
課題解決のための改善計画	不法投棄の内容、場所等を検証し、不法投棄防止看板、監視用カメラの設置、自治会による監視体制と巡回パトロールの強化をし、捨てにくい環境になるよう図るとともに、不法投棄された場合は、廃棄物を徹底調査し、その行為者の特定に努め、自ら処理させます。					平成30年度実績は平成29年度に比べ、不法投棄量が減量しました。市の責務として、不法投棄防止に努める必要がありますが、様々な施策を講じても一向に不法投棄やごみのポイ捨てがなくならないのが現状です。不法投棄に対しては、関係機関と連携し、厳しい対応をとることが必要ですが、併せてより不法投棄を拡大させないために速やかな処理も必要であると考えます。					
備考											